病院の予約は携帯で

受け付け業務効率化

初期投資ナシ

診察日時や担当医の指定、さらにはキャンセルや振り替えなど、煩わしい診療予約の受け付け業務をなくすための強い味方が登場した。携帯電話の申込画面を通して申し込む「ASP診療予約システム」（英代）。受け付け業務の大幅削減に加え、患者のデータベースにも活用できるというスグレモノだ。

携帯画面を通した患者からの予約は、キャンセルや振り替えなども含めすべて病院側のサイトに自動入力されるため、病院側は人手を掛けずに一括管理できる。

携帯の画面による予約申し込み・受付システムはほかにもあるが、この〝ASPシステム〟の特色はソフトや専用機器を新たに導入する必要はなく、パソコンがあれば開設できる点。そのため初期費用はかからず、しかも月額1万8000円（税別）の低コストで運用できる。

同社の河本英樹社長は「携帯画面による予約は急増している。利便性や業務効率の向上だけでなく、ユーザー登録された患者のデータベースを活用すれば、診療案内のDM費などのコスト削減にもつながる」とアピールしている。